

漆の魅力を 広く伝える

ふくしま はじめ人

File No.13

ほくろし堂
蒔絵師

にへい ゆうこ
二瓶 由布子さん(会津若松市)

<プロフィール>

蒔絵師である父の影響を受け、会津大学短期大学部で漆の基礎を学び、会津漆器技術後継者訓練校で技術を習得。現在、父親に弟子入りして技術を学びながら、市内で「ほくろし堂」蒔絵師として制作に取り組んでいる。

父の背中を追って

約420年以

上の歴史ある

会津漆器。その工

程は器を作る、漆

を全体に塗る、描

くの3つ。それぞ

れの工程を各専

門職人が手作業で行い、良質な会津

漆器が作られています。二瓶さんは

「描く」の工程を行う蒔絵師です。

「父親も蒔絵師だったので、漆製品

や漆塗りは身近な存在でした。元々

興味があつて、高校生のときに両親

からこの道を勧められたのが今の仕

事に就いたきっかけです。短大では、

漆についていろいろ勉強しましたね。

蒔絵は筆で繊細に描くので難しい作

業も多いのですが、絵を描くのが大

好きだったので、楽しくて自分に向い

ているかもしれないと思つたんです。

学生の時に作つたお椀を父に褒めら

れたときはうれしかったですね。自

分の作品でお雑煮も食べましたよ」

「その後、もつと本格的に学びた

くて会津漆器技術後継者訓練校に

入りました。その年に震災があつて

不安にもなりましたが、蒔絵師とし

て頑張つていこうと決意しました。



漆塗りの箸にオリジナルの絵を描く

当時は、会津にもたくさん避難して
きた人がいたので、少しでも何か力
になることができればと思い、炊き
出しや生活用品の配布などを手伝
いました」

工房を立ち上げ 新たなスタート

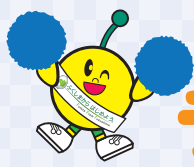
「若手の漆器職人が集まる場所
を作りたいという父の願いで、昨年
8月、シェアアトリエ『みつばち工芸
舎』を建てまし

た。祖母宅の敷
地内の建物を
リノベーション
したんです。職
人同士が集つて
情報交換でき



職人が自由に集まれるシェアアトリエ

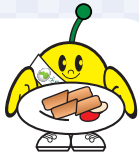
る、とても素敵な場所です。みつば
ち工芸舎内に、自分の工房『ほくろ
し堂』も立ち上げました。『東北×
ほくろ×北欧』の3つの意味を込
めて、使う人がほくろ×ほくろ×温かい気分
になれるような漆器を作つていきたく
いと思つています。なんで北欧？つ
て言われるんですが、私は北欧が大
好きで、昨年の冬、フィンランドに
行ったとき、雪、空、森の雰囲気など
が会津の冬にとっても似ていると感
じました。それに寒い冬でも心まで



ぼくの // わたしの // チャレンジ「自慢」

県内の頑張っている児童・生徒の活動を応援します！

県立小高商業高等学校 流通ビジネス科3年1組(南相馬市)



昨年、授業で学んだ販売促進活動を実践するために、「もちもち春巻き」を開発。第12回復興グル×F-1大会 in 南相馬に向けて、クラス一丸となって商品開発や販売促進に取り組み、地域活性化に貢献しました。



左：製造班(商品開発) 寺島 かすみさん
右：販売促進班 猪苧 愛佳さん



家族のサポート

授業の一環で商品開発を行いました。大好きなさつまいもを使った商品にしようと思い、お年寄りから子どもまでおいしく食べてもらえるものを、と母と一緒に試作しました。母の「お餅を入れるともっとおいしくなるんじゃない?」というアドバイスを元に、のどに詰まらせないように小さく切るなど、誰でもおいしく安全に食べられることを第一に作りました。(寺島さん)



人との関わり



イベント前日まで下準備に追われて大変でしたが、楽しかったです。当日は地元の方がたくさん来て「おいしかったよ」と言ってもらえて、地域や人との関わりの大切さを実感しました。(寺島さん)

店舗に掲示した看板や表示物、チラシなども、生徒たちが地域のことを一生懸命考えて自作したものです。この経験は将来大きな力になると思います。地元のスーパーで共同販売してもらった動きもあるんですよ。(大田先生)



第12回復興グル×F-1大会 in 南相馬
第12回復興グル×F-1大会 in 南相馬で、小高商業高等学校が見事、準優勝に輝きました!

あなたの周りの「チャレンジ」を大募集!!

頑張っている児童・生徒の皆さんをご紹介します。自薦・他薦を問わず、「チャレンジしていること」「活動報告」を募集します。学校・学年・クラス・部活動・サークル単位の応募はもちろん、個人の立候補も大歓迎。ふるってご応募ください。

応募方法 郵便はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号・活動内容を記入の上、ご応募ください。採用の方には、後日ご連絡の上、取材にお伺いします。

郵送先 〒960-8670 県庁 広報課「チャレンジ自慢」係
個人情報、記事や取材などにのみ使用いたします。



Eメール・ファクスもOK!
16ページをご覧ください。



一筆一筆ていねいに色を挿していく



蒔絵専用の漆は乾かないよう保管



クラフトフェアや展示会などのイベントを中心に作品を販売



〈問い合わせ〉ほくるし堂
住所/会津若松市門田町黒岩南
青木148みつばち工芸舎内
E-mail/www.yryr@gmail.com

ほくるし堂 検索

暖かくなれるようにと、インテリアのデザインなどが明るくて楽しいものばかりなんです。とても共感でき、大好きになり、それを会津漆器で表現したいと思いました」

伝統技法を守り、自分スタイルの会津漆器を

「若い人たちにも会津漆器や漆の魅力を伝えるためにはどんなデザインが良いのか日々研究しています。単にデザインの良さだけでなく、漆塗りの器は使い込むほど艶が増していくこと、最近の研究で漆の塗膜に

は殺菌効果もあることが分かったことなども伝えたいですね。会津漆器の素晴らしさを伝えて、ぜひ、皆さんにも使ってほしいです」

「先日、イベントでお箸を買っていただいたお客さまから、『絵を見る度に食事がとつても楽しくなります!』とお礼の言葉をもらいました。とってもうれしかったです。今、父の元で修行していますが、いずれは一人前の蒔絵師として独立することが目標です! 器にもこだわって、スプーンカップなど会津漆器を普段使いしてもらえそうな作品も作っていききたいですね」